

季節展示『アカトンボ』から

碓 井 徹

2階の『季節展示コーナー』は、秋にちなんでアカトンボを特集します。

一言でアカトンボといっても、実は“アカトンボ”という和名のトンボは存在せず、日本に20種ほどいるアカトンボ属と呼ばれるグループに含まれるトンボ達の総称なのです。話が少々ややこしいのは、このアカトンボ属のトンボの中には、体色が赤くない種類がいたり、その逆に真っ赤なトンボなのにアカトンボの仲間ではない種類もいることです。

今回の展示では、埼玉県で見られる12種のアカトンボの生態写真を中心に、赤くないアカトンボの仲間や赤いけれどアカトンボのグループに属さないトンボなども紹介します。

また、アカトンボを題材とした俳句や短歌についても代表的ないくつかの作品を展示しており、生態写真とはまた違う角度からアカトンボを楽しんでいただけます。

今回、生態写真を展示するアカトンボは以下の種類です。()内は、その和名の漢字表記です。展示では、それぞれの和名の由来についても簡単に解説をしています。

和名の前に*印を付けた種は、当館のある長瀬町の名勝『岩畳』でも観察することができる種類です。

トンボ科アカトンボ属 (アカトンボの仲間)

- *アキアカネ (秋茜)
- *ナツアカネ (夏茜)
- *ノシメトンボ (熨斗目蜻蛉)
コノシメトンボ (小熨斗目蜻蛉)
- *ミヤマアカネ (深山茜)
- *マユタテアカネ (眉立茜)
ヒメアカネ (姫茜)
- *リスアカネ (リス茜)
マイコアカネ (舞妓茜)
- *キトンボ (黄蜻蛉)
オオキトンボ (大黃蜻蛉)
- *ネキトンボ (根黄蜻蛉)

マダラナニワトンボ (斑浪速蜻蛉)

本種は、埼玉県には分布していませんが、“黒いアカトンボ”として有名な種です。



ガマの穂に止まるネキトンボ



交尾するマユタテアカネ



飛翔するキトンボ

(うすい とおる 担当課長)